

吹田市立北千里児童センター、吹田市北千里地区公民館、吹田市立北千里図書館  
指定管理者候補者選定委員会議事録

日 時 令和6年1月18日(木) 午後1時30分～午後4時30分  
場 所 まちなかりビング北千里  
出席委員 瀬戸口委員、岡田委員、宮里委員、塩路委員、木下委員  
事務局出席者 今井 典代(子育て政策室長)  
湊崎 雄作(子育て政策室参事)  
瀬村 俊(子育て政策室主幹)  
片岡 慎太郎(子育て政策室主査)  
北野 康子(まなびの支援課長)  
田畑 千恵(まなびの支援課主幹)  
宮脇 淳(まなびの支援課主査)  
林野 優子(中央図書館館長)  
添田 いよし(中央図書館主幹)  
寺坂 美香(中央図書館北千里担当主査)  
会議公開 非公開

次 第

- (1) 室長あいさつ
- (2) 委員長及び副委員長の選任
- (3) 吹田市長及び吹田市教育長の諮問
- (4) 事前配布資料及び第三者モニタリング・評価の進め方についての説明
- (5) 第三者モニタリング・評価の手順についての説明
- (6) 指定管理者入場・紹介
- (7) 各委員評価(指定管理者へのヒアリング)
- (8) 答申について

議事概要

- (1) 室長あいさつ
- (2) 委員長及び副委員長の選任
- (3) 吹田市長及び吹田市教育長の諮問
  
- (4) 事前配布資料及び第三者モニタリング・評価の進め方についての説明

【事務局】

～ 事前配布資料及び第三者モニタリング・評価の進め方についての説明 ～

【委員長】

説明が終わりました。ご意見、ご質問があればお願いします。

それでは評価の進め方については、ただいま事務局からご提案いただいた内容を基に進めるということによろしいでしょうか。

～（「異議なし」との声あり）～

異議なしとのことですので、本案を承認いたします。

（５）第三者モニタリング・評価の手順についての説明

【事務局】

～ 指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価シートについての説明 ～

【委員長】

説明が終わりました。ご質問等ございませんでしょうか。

無いようであれば、吹田市立北千里児童センター、吹田市北千里地区公民館、吹田市立北千里図書館第三者モニタリング・評価の手順について、確認したということによろしいでしょうか。

～（「異議なし」との声あり）～

異議なしとして、本委員会としてモニタリングの評価の手順を確認いたしました。ただいま確認いたしました第三者モニタリング・評価の手順に基づきまして評価を進めてまいりますので、委員の皆様よろしくお願いします。

「各委員評価（指定管理者ヒアリング）」を行っていきたいと思います。

（６）指定管理者入場・紹介

指定管理者制度導入施設の第三者モニタリング・評価シートの記入・作成にあたって、指定管理者に対するヒアリングを行っていきますので、指定管理者の方に入場いただきたいと思います。

～指定管理者入室、自己紹介～

（７）各委員評価（指定管理者へのヒアリング）

【委員長】

それではヒアリングをはじめます。評価シートの評価項目 1 管理運営内容、2 利用者満足度、3 サービス提供の継続性及び安定性の順に進めていきたいと思っております。まず、管理運営内容につきまして、各委員から順次質問等お願いいたします。

## 1 管理運営内容について

### 【委員】

収支決算報告書において、指定管理料が 812 万円のマイナス、自主事業が 74 万円のマイナスとなっています。指定管理料の方で旅費交通費、水道光熱費、採用研修費、本部管理費が予算に比べて実績が大きいと思うのですが、原因を説明していただけますでしょうか。

### 【指定管理者】

水道光熱費につきましては、当初予定しておりました予算よりかなり大幅に増額することになりましたが、昨今の光熱費の高騰に寄与するところが大きいと思っております。今後の具体策としては空調機のこまめな温度調整や、公民館のご利用者の方にも対応をお願いして説明に努めているところでございます。水道料金につきましては開館当初、植栽の定着ということで散水を強化するように吹田市様からアドバイスをいただきまして、特に夏場は毎日 2 時間を超える散水を行っていたことが影響していると思っております。

採用研修費につきましては、自社のホームページ等で採用の求人をかけておりましたが、専門性を要求する求人は広報が困難であったことから、外部の求人サイトを利用したことで非常に経費がかかってしまいました。また、研修で外部講師へ依頼したことや、Web 研修に必要な機器の購入等の投資につきまして、当初予定していたものより増額となってしまいました。

本部管理費といたしましては、労基関係のシステムや会計システムの運用等にかかる経費と、そのための本社機能の維持運営に掛かる経費が非常に膨らんでしまったところですので。当初、ある程度は想定していたものの大幅な増額となってしまった点は、見込みが甘かったところだと考えている次第です。対策については引き続き検討していきたいと思っております。

### 【委員】

今のお話の中では初期の費用がかかったということですが、2 年目以降はそういう支出が出ないだろうから、その辺を抑えられるという理解でよろしいでしょうか。

### 【指定管理者】

減額には繋がると思っています。求人に関しても、スタッフの雇用が定着しておりま

すので新たな求人をつける必要もなくなっております。ただ、水道光熱費に関しては私たちの努力だけでは難しいところがあり、苦慮しているというのが現状でございます。

【委員】

自主事業の方の講師料・材料費等も実際の支出が154.9%と多いと思いますが、この原因も聞かせてもらえますか。

【指定管理者】

魅力ある自主事業を当施設の利用者様に提供するという事で、児童センターで行っている自主事業では特に専門性の高い先生へ講師依頼をしております。利用者の方から非常に好評で参加者も増えているところですが、講師料増額の原因の一つかと思えます。

【委員】

採用研修費のマイナスについて、吹田市の方で研修日報の確認ができなかったところがあるというご指摘がありますが、その辺りの管理に関して、どのような実態があるのか教えていただけますでしょうか。

【指定管理者】

報告書における私どもの報告の仕方に不備があったかと思えます。実際に研修にあたったスタッフの名前や研修内容について、翌年度から詳細に報告させていただくようになり、不備等のないように努めているところでございます。

【委員】

スタッフの方を新しく雇用する必要があったということで、勤務形態の課題や改善された点があれば教えてください。

【指定管理者】

当施設が開館した11月、12月あたりは一日の来館者が非常に多く、図書館や児童センターの新規登録の件数も非常にございました。関連する窓口業務でも、作業がかなり多かったことで一部残業になったケースもございます。もちろん協定で結んでいる範囲内の残業時間で抑えております。当施設の特徴としてSNSや広報誌をニューズレターという新しい形で行っており広報関係を強化しております。広報専門のスタッフを雇用すること、そしてそのスタッフのスキルアップに注力することを今後の課題と考えております。

入口すぐでございます総合受付では、当施設へ来館された全ての方へ対応できるスキルが求められておりますので、図書館だけ、公民館だけ、児童センターだけに限るので

はなく、全てのスタッフがマルチ的なスキルを身に着けるために日々努めているところです。今後、新人として採用したスタッフにもそういったスキルを身に着けてもらうということが複合施設としての課題であると考えております。

**【委員長】**

スタッフの研修というのは具体的にどういう形で行っているのでしょうか。

**【指定管理者】**

共同事業体の中でも図書館に関わる部分、児童センターに関わる部分の専門性を要求される研修については、各社独自の研修システムを持っておりますので、それでスタッフのスキルアップを図っています。また、先ほどお伝えしましたマルチ的に複合施設として全ての業務を網羅しないといけない部分もございますので、合同研修という形で月に一回の館内整理日を設けており、共同事業体間のスタッフ合同で研修を行っております。例えば危機管理に関する研修や接客研修など、利用者の方の安心安全を担保するためにも、そのような研修は引き続き行っていこうと思っております。

**【委員】**

研修について、三つの団体で指定管理の運営をされているということで、みなさんが共通認識を持って全員研修を受けられているのか、どのように三者共同で進められているのかということと、決算報告書で令和4年度はマイナスとなっていました、今年度の予算はどうなっているのか教えていただけますか。

**【指定管理者】**

月に一度の館内整理日が三者の集まりやすい環境ですので、そういった時間を利用してまして共同事業体三者で集まって研修を行っております。例えば危機管理面の避難訓練や防災訓練につきましては、火災や地震など様々なケースを想定した訓練を行っております。利用者の年代も幅広く、ご高齢の方から児童センターを利用の幼児の方、赤ちゃんまでいらっしゃいますので、そういった皆様の安全を確保する訓練を私どもでシナリオを作って、三者の職員と吹田市の職員も参加して行っております。接客研修につきましては、三者それぞれの業務で異なるケースはありますが、お客様に対しての接客という面では共通のテーマと思っておりますので、カウンターでのシミュレーションを行うなどの接客研修を継続して行っているところです。

今年度以降の予算につきましては、やはり水道光熱費について厳しい状況が続いております、正直に申し上げますと今年度も苦しいところです。この部分については、指定管理者だけではなく、当施設の利用者様にもご協力をいただいております。例えば公民館の貸室利用では、それぞれの団体様が空調を調節されておりますので、適正温度のご提示を

させていただきご協力をいただいております。指定管理者での対応としては、開館前は必要な箇所だけ点灯しての作業を行うなど、細々としたことではありますが、日々そういったことの積み重ねで節電に努めていこうと思っているところでございます。

#### 【指定管理者】

児童センターからも研修について説明させていただきます。吹田市の子育て政策室から研修の案内をいただいております、そのような研修については積極的に参加しております。学んだ内容を持ち帰り、児童センターの中でOJTとして研修を積むという形で行っております。以上でございます。

#### 【委員】

研修や自主事業を活発にされているということですが、地区公民館と連携している活動や、地区公民館との関係を教えてください。

#### 【指定管理者】

北千里地区公民館では非常に多くのグループ様が登録されております。旧公民館の時からすでに100を超えるグループさんが登録されており、そのグループの方が引き続き当施設をご利用いただいております。まだ新しいグループとして立ち上げられた地域住民の方も多くいらっしゃいまして、グループ活動が非常に盛んです。一方、高齢化やメンバーの減少ということで、グループとして貸室の利用が難しくなることもございます。1グループに少なくとも5人の構成メンバーがいないと、グループ活動としてお認めが難しいという要件があり、そういった理由で、グループ活動が難しいというお声をいただいたことがございました。定期的に行っている公民館とのミーティングにてそのことを伝えたところ、公民館の主催講座でそういったグループさんを講師として招きたいというご提案をいただきました。具体的には味噌づくりのグループさんだったのですが、味噌づくりの講座を公民館の主催講座として行うことになりました。指定管理者からも提案させていただいており、調整を重ねていきながら進めているところでございます。

#### 【指定管理者】

児童センターからも公民館とのコラボについて説明させていただきます。今年度の実施になりますが、着付けのグループさんと「浴衣でおでかけ夏まつり」という、着付け教室で浴衣を子供たちに着せていただく企画をさせていただきました。しかしながら反応が悪く、2組しかこられなかったのですが、快く着付け教室をしていただきました。また、子育て世代のピアニストとソプラノ歌手の方と一緒に子供を抱きながら楽しめる音楽会を毎月させていただいております。シルバー世代の方も一緒に歌っていただいたら多世代で繋がりが持てるということで、0歳から100歳までが集って一緒に歌いまし

ようという「SingSingSing0100」という企画を11月に行いましたが、その時はシルバー世代の方の参加が少なかったです。原因を考えたところ、公民館独自の広報誌である公民館だよりというのは、シルバー世代の方にとってはSNSよりも大きい媒体であるということに気づきましたので、1月号の公民館だよりには日程等を掲載させていただきました。昨年度より見えてきた部分がありますので、今後ともいろいろなところで繋がりを持っていきたいと思っております。以上でございます。

#### 【委員長】

ありがとうございます。複合施設ですので多世代の方が集まる場所ということで、大変な部分もあるかと思いますが、ぜひ地区公民館とも積極的に繋がっていただいて、イベントなどの運営をしていただけたらと思います。

## 2 利用者満足度について

#### 【委員】

資料の第1回の利用者アンケートの回答者が、69人と非常に少なかったことが気になりました。第2回のアンケートでは回答者数は増えていますが、利用者総数から考えて少ない印象があります。また、複合施設でまとめてアンケートを取っていますが、それぞれの施設でもアンケートをとるべきではないかと思います。いかがでしょうか。

#### 【指定管理者】

当施設は11月に開館しアンケートを実施したのが2月の当初で、来館者の方が多かったのですが、なかなかアンケートのご協力に結びつきませんでした、当施設での初めてのアンケート実施でしたが、我々からの積極的なお声掛けができなかったという反省を持っております。この初年度のアンケートにつきましてはWeb上と紙でご用意させていただきましたが、やはり高齢者の方にはまだまだ紙ベースのものが馴染み深いということは、初年度の反省としております。今年度から紙の割合を増やして実施させていただいたところ、アンケートの回答率がアップいたしました。

複合施設の中で、それぞれの施設ごとにアンケートを行ってはどうかというご意見をいただきましたが、ご利用者にこの施設のどの機能を一番使っているかという質問をさせていただいたときに、一つの施設だけを使っているという方が割合として少なかったということがありました。施設の特性を生かしていきたいという思いもあり、今年度もアンケートは施設全体として行いました。ただし、なかなかアンケートではお答えいただけない方もいらっしゃることは実感しておりましたので、アンケートだけではなく利用者懇談会というのも、年に1回以上実施するようにいたしました。あまりかたい名前ではみなさんご参加いただけないかもしれないので「まちきたサロン」という名前で実施しました。公民館の調理室を利用して、参加された方のご意見を聞く場を設けさせて

いただきました。子供さんを連れていて書くのが難しい利用者の方や、障がいをお持ちの方など普段なかなかアンケートをお答えいただけないような方からご意見を伺う機会を設けることもできました。他にアンケートの回答率が低い中高生、YA 世代と言われる年齢のご利用者については、施設で発行している「MACHIKITA DAYS」というニュースレターのインタビューにて、中高生 37 名から施設の利用内容や感想などを聞く機会を設けることができました。利用されている幅広い年齢の方からいろんな形でご意見をうかがう機会を、引き続き作っていきたいと思っております。

#### 【指定管理者】

児童センターからも説明させていただきます。9月に児童センター独自のブラッシュアップアンケートでは110通ほどの回答をいただきました。内容としては例えば3人の子どもを連れていっているのでトイレになかなか行けないというご意見をいただいたことがあったので、お困りの方はいつでもお声がけくださいという張り紙を全室に掲示させていただくなど、アンケートを通じてブラッシュアップをしているところでございます。いつでも回答いただけるよう各部屋にQRコード付きのポスターを掲示しております。職員の対応についてお褒めの言葉をいただいた際は、我々職員のモチベーションが上がりましたので、そういった内容も含めて全職員で共有して生かしているところでございます。以上です。

#### 【委員】

ありがとうございます。それぞれのニーズを酌み上げようというご努力が伺えてよかったです。アンケート内容の公表はされているのでしょうか。

#### 【指定管理者】

資料につけておりますアンケートにつきましては、館内の掲示板にて公開しております。アンケート期間中に回答ができず残念だったというお声を伺ったことがありましたので、アンケートの実施期間についても今後再検討していきたいと思っております。

#### 【委員】

子ども会議について、0名の参加や1~2名の参加という会が何度かあったようですが、子どもの意見の吸い上げや運営の方法は実際どのようにされているのでしょうか。

#### 【指定管理者】

児童センターから子ども会議について説明させていただきます。当初は委員活動のような形で、申し込んでいただいた10名程度の方で始めさせていただきました。毎週水

曜日に実施している中で、なかなか10名揃うことがなく0名の時もございますが、子ども会議は継続して実施していると記録を残しております。参加者が1名であっても2名であっても、来ていただける子供の意見というのは非常に大事なことだと思っております。「まちきたキッズ～にこにこひろば～」という愛称の児童センターだよりがあるのですが、子ども会議で決めたロゴやキャラクターを採用しております。

小学生に魅力のある児童センターにするにはどうしたらいいのかを考えておりまして、子どもを引きつけるものと考えているところです。そういった中で子ども会議の参加人数も増えてくるのではないかと考えております。以上です。

#### 【委員】

アンケートを実施されているということですが、常に意見を募集できる意見ボックスのようなものの設置はあるのでしょうか。また、アンケートを見させていただくと図書館に対する不満や、児童センターに対する対応が足りてないという声は何点か見受けられました。初年度は利用者の新規登録が多かったことや、始まったばかりで人員が足りないというところがあったと思いますが、今の人員は足りているのかどうかお聞かせください。

#### 【指定管理者】

開館してから短い期間でお答えいただいたアンケートだったので、まだまだ慌ただしい時期だったかと思えます。今では平日は落ち着いております、来館者の人数もおよそ想定もできます。繁忙期にあたる夏休みなどの長期休暇でも来館者の想定数を掴むことができました。シフトにつきましても、繁忙期と平常時とのメリハリをつけたシフトを作ることで、無理のない体制を作れていたかと思えます。当施設は10時の開館ですが、電話対応は9時30分から行っており、開館時に集中して混み合う時間をできるだけ減らすように、そして一人一人の利用者の方に丁寧に対応できるよう、余裕を持った接遇ができるように工夫しているところです。

#### 【指定管理者】

児童センターから説明させていただきます。開館当初はご不満や苦情をいただいたこともございました。笑顔で寄り添って安心安全を提供できるよう、職員の対応を見直したところ、今年度の9月に実施したブラッシュアップアンケートでの児童センター職員の対応について、「とても良い」と「良い」がほとんどで、あとは「やや不満」が2.6%、「不満」が0.5%、「普通」が2.6%ということで、97%から支持いただいております、これからは頑張らないといけないと感じております。ご不満に感じておられる3%は少ない数字に見えますが、今後改善していかないといけない部分ですので、努めて参りたいと思っております。以上です。

【委員】

利用者からの意見はアンケートだけで聞くという理解でよろしいでしょうか。意見ボックスの方はいかがでしょうか。

【指定管理者】

現在、ご意見ボックスという形では設置しておりません。アンケート以外でもご意見を伝えたいという方もいらっしゃいますので、いつでも意見を言っていただけるような雰囲気づくりには努めているところです。公民館についてはご利用後に使用報告書というのを提出いただいております、その中にもご意見や感想を書いていただく項目を設けています。管理のことも考え常時投函いただけるボックスという形はございませんが、メールでもご意見をくださる方もいらっしゃいますので、いつでもご意見をお受けできる体制になっているかと思っております。

【委員】

様々な意見がくると思いますが、改善についてはどれぐらいの期間で、どういう会議で決まって、どういう風が変わっていくのかというところを教えてくださいませんか。

【指定管理者】

正直に申しますとケースバイケースで、館長判断ですぐに変えられるものはすぐ変えます。内容によりましては吹田市さんと相談する必要のあるケースもございますので、そういった内容はまず吹田市さんへ報告させていただき、手順を踏んで対応しております。いただいたご意見については、皆さまそれぞれの思いがあって伝えてくださっているとっておりますので、できる限り改善していきたいと思っております。意見を言っても無駄だと思われることは一番よろしくないことだと思っておりますので、すぐに改善できない場合については理由を丁寧に説明させていただくなどの対応をしております。

【委員】

利用者アンケートを見ると静かな図書館というところと、児童館の活性化というところが相反すると感じました。新しい取り組みをされているので難しいところだと思うのですが、子供を中心にした部分と、図書館施設という部分の複合的な方向性といえますか、どういう施設を目指しているのかというところを教えてくださいませんか。

【指定管理者】

当施設の特徴はやはり施設・設備の複合化と思っております。こうでなければならな

いという固定概念のようなものは、変えていきたいと思っております。静かな環境というのも、本当に静かな環境を求めていらっしゃる方には、施設内のゾーニングをご説明させていただいて、例えば図書館のエリアで自習できる学習室という部屋があります。本当に静かな環境で本を読みたい方はこちらでお読みくださいというふうにご案内させていただいております。公民館利用者の方で、他の利用者の方に「静かにして」と言われて困っているとおっしゃっていた方もいらっしゃいました。ニーズに合わせて利用できるスペースをご用意しておりますので、利用者の皆さんに当施設をうまく使っていただけるよう、ご案内をしていくことが私たちの仕事だと思っております。

#### 【委員】

とてもわかりやすい説明をありがとうございました。ゾーニングの周知をしていただいて、市民の皆さんに使ってもらえる施設になるといいなと感じました。

#### 【委員長】

ゾーニングの周知は非常に重要だと思いますし、図書館や公民館の利用者への対応について不可欠だと思います。公民館と図書館は長い間社会教育施設としてありましたが、これまで互いの利用者層が重なり合わなかったというところが、解消したのかなと個人的に感じていました。児童館も含めてですが、せっきくの複合施設ですので、この構造を生かしていただいて互いに有機的なつながりを持って運営していただくと、今まで関心がなかった新たな層の利用に繋がるかと思えます。

#### 【委員】

小学生の参加に苦慮されているというお話がありましたが、乳幼児の親子に関しては幼児教室をされているということで、登録制でされている部分と、フリーで利用できる部分とあると思うのですが、どのくらいの参加者がいるのか利用実態を教えてください。

#### 【指定管理者】

平日で150人、休日になりますと約300人のご利用がございます。300人の場合は一度に来られると非常に密になってしまいますので、土日祝日はリストバンドをつけていただいて1時間交代で入っていただけるシステムを取らせていただいております。小学生についてはフリーで入っていただけます。リトミックや幼児教室等につきましては、当センターの主任から説明させていただきます。

#### 【指定管理者】

幼児教室等についてご説明させていただきます。令和4年度に関しましては、一つのクラスを開設いたしました。定員は15名としておりましたが、1歳児の募集で60名ほ

どの応募があり抽選となりました。令和5年度に関しましては、いくつかのクラスを開設し、それぞれ多少の募集の差はありますが、いずれも大変人気のクラスとなっております。募集を上回る応募をいただき、お断りをしないといけない方もたくさんいらっしゃいますので、今後の募集について吹田市様と検討させていただこうと思っております。

リトミックに関しましては月1回実施をさせていただいており、多いときは30~40名の参加がございます。リトミックは申し込み制ではなく当日参加で実施しております。以上でございます。

#### 【指定管理者】

従来から実施されております公民館の主催事業である乳幼児のママヨガやリトミックなど、そういったところへも参加者の方が増えてきていると実感しています。また、図書館でも「おひぎで絵本」や「ブックスタートのひろば」など、乳幼児や親の方を対象とした事業への波及効果も複合施設としてできればと思っております。子育て中から本に親しむ環境を好きになるということが、お子さんの成長や子育て中の親御さんのプラスにもなると思っています。こういう子育て世代の方がたくさん来館されているという環境を今後も生かしていきたいと思っております。

#### 【委員】

今インスタを見させていただきました。インスタからのお知らせは児童センターが中心に見えましたが公民館からのお知らせはあるのでしょうか。

#### 【指定管理者】

インスタでののお知らせは施設全体として行っております。児童センター独自としてはSNSやLINEを活用しております。子育て世代の方を対象としたイベントなどはインスタやLINE、ホームページにも掲載しております。公民館の広報誌である公民館だよりにつきましてもホームページで情報提供させていただいており、SNS等を活用した広報も力を入れているところです。

### 3 サービス提供の継続性及び安定性

#### 【委員】

館内の掃除やメンテナンスはどの程度、誰によってされているのか教えていただけますか。

#### 【指定管理者】

日常清掃につきましては、施設管理を担当しております長谷工コミュニティから派遣される清掃員の方に開館前から清掃をいただいております。14時まで清掃員の方が

常駐されておりますので、その間の館の全体の清掃を行っていただいております。公民館の各室につきましては、備品として清掃道具を設置しております、利用者様に室内清掃をお願いしております。ご利用の多い部屋はご利用者様の清掃だけで足りない部分がありますので、清掃員の方をお願いしたり、常駐しているスタッフで行っているところ です。

【委員】

現在の運営の中で特に課題になっている点や、難しい点はあるのでしょうか。

【指定管理者】

施設管理担当から回答させていただきます。毎週月曜日、共同事業体3者で施設の現地の人間が集まって連絡会を開いております。業務の中で気づいた点をご報告いただき改善しております、例えば児童センターの床が滑りやすくなっているからワックスを塗るなど、吹田市様とも連携をさせていただき改善しておりますので、現状では特に問題なっているということは聞いておりません。

【指定管理者】

児童センターからも回答させていただきます。児童センターの広場は天然芝を敷いており、乳幼児さんや保護者の方、小学生が活発に遊んでいる中で、維持できている方だと思っております。エアレーションや砂を入れてもらうなどは施設管理の方で行っていただいております、4月に芽が出てくるかどうか注視しているところでございます。また、衛生面に関して、消毒や手洗いの大事さをコロナ禍で学びました。それぞれの部屋にアルコールと拭き取り用のペーパータオルを設置しており、保護者の方や小学生の利用者に使用後は拭いていただくようお願いしております。コロナ禍以降もインフルエンザなど流行っておりますので、継続して取り組んでいきたいと思っております。以上でございます。

【委員】

自主事業イベントについての自己評価で、魅力あるイベントや講座を企画されたということですが、詳しくお聞かせください。

【指定管理者】

複合施設の特徴である多世代交流、これを一つの柱にしていきたいと思っております。先ほども一例で紹介させていただきましたが、公民館で長く活動されている様々なグループの方々に講師役になっていただいて、子どもたちの体験の場を作りたいと思っています。昨今、子どもの貧困ということが問題になっておりますが、学校や園以外で

の体験の場が非常に少なくなっているのではないかと感じています。経済的に苦しいご家庭にとっては、学校以外で子どもに様々な体験をさせることが非常に難しいのかなと思っております。複合施設だからこそ実施できるような、このスペースを生かして普段学校や園だけでは体験できない様々な体験をしてもらいたいと考えています。そしてその講師にはぜひ多くの地域の方に関わっていただいて、結果的に多世代の交流に繋がればと考えております。

【委員】

公民館、図書館などの備品の管理をどのようにされているか教えていただけますか。

【指定管理者】

吹田市様とのお話の中で3万円以上の価格のものを備品としており、備品台帳を作成して内容については毎年確認し、更新作業を進めております。新しい施設ですので備品の更新はまだありませんが、今後発生してくると思いますので、見落とし等がないようにしっかりと管理していきたいと考えております。

【委員】

広報のことで、SNSなどを使って発信をされているということでしたが、誰が担当となって、どのように発信する内容を決めているのでしょうか。

【指定管理者】

施設のスタッフで広報担当者を決めておまして、SNSやホームページの管理についてはその広報が中心になって行っています。1人に任せるのではなく、担当者制をとっておりますので、複数人で内容の確認を行っており、更新のタイミングにつきましても、広報スタッフが出勤していないときでも内容の更新ができるようにしております。特にホームページにつきましても臨時休館のお知らせなど緊急を要するものもございしますので、1人専任制にするのではなく、一定のスキルを持った担当者数名が共有できるようにしております。

【指定管理者】

児童センターではLINEも併用しており、昨年の2月から運用を始めております。現在の登録状況としては、約1,000人の登録と100人ほどブロックされている状態ですので、約900の方に発信しております。発信の内容につきましては、例えば幼児教室において集会室を使ってください等のお知らせをさせていただいております。児童センターの事業以外でも乳幼児の保護者が対象となるような図書館の行事についても発信をさせていただいております。以上です。

【委員長】

便利に発信できるツールならではの難しい部分も多少あるかなと思いますが、工夫して継続していただければと思います。

【委員】

公民館とのコラボなどを利用して、多世代交流を目指したいというお話があったと思いますが、地域のボランティアの方の登録の方法や、どの程度ボランティアの方がいらっしやるのかなどの実態をお聞かせください。

【指定管理者】

図書館についてはすでに吹田市様の方で図書館のボランティアを募集されていますので、指定管理者としてどのように差別化をするか検討しているところです。ボランティアとして目的のはっきりしたもの、例えばすでに児童センターで活用している市内の大学の学生ボランティアの経営を行って、事業を運営する部分がございます。こちらについては児童センターから報告させていただきます。

【指定管理者】

児童センターから報告させていただきます。千里金蘭大学の学生と、関西大学のボランティアセンターを通じて、学生ボランティアを登録させていただいております。関西大学につきましては月1回、ボランティアセンターの先生と10人程度の学生の方に来ていただいております。千里金蘭大学に関しましては、ホームページでボランティアに来ていただける日を入力いただいて、来ていただいております。あとは数名ですが、地域の方もボランティアとして登録させていただいております。学生は大学生と高校生で80の方が登録いただいております。シニア世代の方で5名ありますので、合計91名の方に登録いただいております。

【委員長】

他に発言はありませんか。無ければこれでヒアリングを終了しますので、指定管理者の皆様には退出していただきます。ありがとうございました。

～ 指定管理者退室 ～

【委員長】

指定管理者へのヒアリングが終わりました。第三者モニタリング・評価シートへの記入・評価を行っていただきたいと思います。第三者コメント欄につきましては、優れた

取組や課題、指定管理者に対する助言や意見をご記入いただきますよう、お願いいたします。

(8) 答申について

【委員長】

お手元に評価シートが配布されますが、こちらの評価をもとに、当委員会としてのモニタリング評価について確定してまいりたいと思います。

～ 評価シートの第三者評価内容の委員間調整、答申の確定 ～

【委員長】

それでは、本選定委員会の評価の結果としましては、「一部課題があるが、概ね公共施設として適正な運営を実施されていることが確認できた。」を答申とすることにご異議ございませんでしょうか。

～ (「異議なし」との声あり) ～

ありがとうございます。つきましては、本選定委員会より吹田市長及び吹田市教育長に対しまして、吹田市立北千里児童センター、吹田市北千里地区公民館、吹田市立北千里図書館第三者モニタリング・評価について答申を行うこととします。

～ 答申書を手交 ～

【委員長】

それでは、これで委員会を閉じたいと思います。各委員皆様のご協力により任務を遂行することができました。誠にありがとうございました。